



世界選手権の回転での滑り(撮影=堀切 功/日本障害者スキー連盟)

### 鈴木猛史選手がことしも大活躍

世界選手権回転、W杯総合と技術系で優勝

チェアスキーヤーの鈴木猛史選手(駿河台大職員、猪苗代高卒)が2014-15シーズンのワールドカップ(W杯)で総合優勝と技術系の種目別優勝を果たすなど、今シーズンも大活躍を見せました。また、3月にカナダ・パノラマで開かれた世界選手権では回転で金メダルに輝きました。シーズンを終えた鈴木選手は「世界のレベルが上がってきているので、安定した成績が残せるよう、来シーズンに向けてしっかり準備していきたい」と話しました。



初のW杯2位に星野選手(右)のビュースマイルがはじける

### 星野純子選手がW杯で初の2位

フリースタイルスキーW杯秋田たざわ湖大会

2015フリースタイルスキーワールドカップ(W杯)秋田たざわ湖大会は2月28、3月1の両日、秋田県のたざわ湖スキー場で開かれ、初日のモーグルで星野純子選手(リステル)が自己最高の2位に入りました。2日目のデュアルモーグルでも6位入賞と大活躍。ソチ冬季五輪などで活躍した上村愛子さんの引退後、日本女子モーグルのエース候補として期待が寄せられる星野選手。来シーズンの活躍も大いに期待されます。

### 町地域福祉交流センターが完成

旧猪苗代町立病院が生まれ変わる

旧猪苗代町立病院を改修した町地域福祉交流センターの工事が完了し、3月31日、同センターで引き渡し式が行われました。式では、前後公町長が「地域の福祉、交流の拠点として町民に親しまれる施設にしたい」とあいさつ。関係者がテープカットを行い、完成を祝いました。同センターには、町社会福祉協議会、町シルバー人材センターなどが入居します。大会議室や調理実習室などは、町民の皆さんもご利用が可能です。



テープカットを行い完成を祝う関係者

### 震災犠牲者の冥福を祈り鐘つき

東日本大震災物故者慰霊・復興祈願法要

東日本大震災物故者慰霊・復興祈願法要は3月11日、亀ヶ城公園の鐘楼堂で行われ、震災の犠牲者を弔うとともに、震災からの復興と原発事故の収束を祈願しました。町仏教会が主催し、町内の各寺の住職や檀家の代表ら13人が参列しました。長照寺住職の楠俊道会長の読経の後、黙とうをささげた参列者らは、一人一人焼香し、犠牲者の冥福と震災からの復興を祈りながら鐘を打ち鳴らしました。



犠牲者の冥福を祈りながら鐘をつく参列者



メモリアルプレートの贈呈を受けた渡部監督(中央)ら

### ふくしま駅伝町の部初優勝記念

メモリアルプレート制作、メンバーに贈呈

町ではこのほど、昨年11月に開かれた第26回ふくしま駅伝で本町チームが町の部初優勝を飾った記念として、メモリアルプレート制作、カメラリーナに展示するとともに、メンバーの42人全員に贈りました。贈呈式は3月17日、町役場で行われ、前後公町長が二瓶芳雄総監督、渡部敏弘監督らに手渡しました。二瓶総監督は「皆さんの応援のおかげで優勝できた。選手たちには挑戦者の気持ちでまた頑張してほしい」と話しました。



前後町長に寄付金を手渡す山田会長(中央)と新明さん(右)

### 子どもたちの教育に役立てて

猪苗代達磨会が町に寄付

猪苗代<sup>だま</sup>達磨会は2月27日、教育振興事業協力金として、十三日市で販売しただるまなどの収益金10万円を町に寄付しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、同会の山田敏信会長と新明哲也さんが「子どもたちの教育に役立ててください」と前後公町長に寄付金を手渡しました。前後町長は「ありがとうございます。有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

### 憧れの選手からスキー技術学ぶ

星野純子選手らによるスキー教室開催

フリースタイルスキーモーグルの星野純子選手(リステル)らによるスキー教室「エンジョイデコボコin会津磐梯山エリア」は3月7日、箕輪スキー場で開かれました。この教室には、町内外から小学生から大人まで約30人が参加。初級、中級、上級の3班に分かれ、コブを滑る基本などを教わりました。星野選手から指導を受けた西村百叶さん(猪苗代小3年)は「星野選手に滑りをほめてもらえてうれしかった」と笑顔を見せました。



星野選手(左)から指導を受ける子どもたち

※学年は3月7日現在

### 信頼される自衛官目指し頑張る

町自衛隊協力会が入隊予定者を激励

町内の自衛隊入隊予定者の激励会は3月17日、町役場で開かれました。町自衛隊協力会会長の前後公町長が、ことし入隊予定の湯田郁美さん(不動=会津学鳳高卒)、小林翔太さん(富永=喜多方桐桜高卒)、小椋清盛さん(達沢=猪苗代高卒)に激励金を贈呈し、「いずれの地にあっても、ふるさとを愛する心を忘れず、信頼される自衛官として活躍することを期待しています」とはなむけの言葉を送りました。



左から前後町長、湯田さん、小林さん、小椋さん